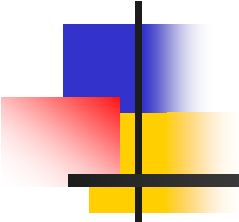


# 地理教育方法・評価 演習



---

## 第12講 教材を効果的に活用した授業開発 —まとめにかえて—



## 【本日の課題】

教材の特性と使い方を復習しよう。

(1) 次の5枚のカードは、どのようなタイプの教材を説明したもののか、各カードをマトリクス図(4象限)に位置付けなさい。

A: (自ら**作者**として)世界を経験したり、(自ら**専門家**として)社会を調査しようとした教材

B: **作者**が自らの経験にもとづいて、その結果(見聞・主張)を**読者**にむけて記述した教材

C: **作者**が収集した事実にもとづいて、その解釈(特色・全体像)を**読者**にむけて説明した教材

D: **専門家**が自らの調査にもとづいて、その結果(現状・傾向性)を**素人**にむけて記述した教材

E: **専門家**が収集した事実にもとづいて、その解釈(原因・影響)を**素人**にむけて説明した教材

現象

本質の説明

【メタファー】

【モデル】

主観的再構成

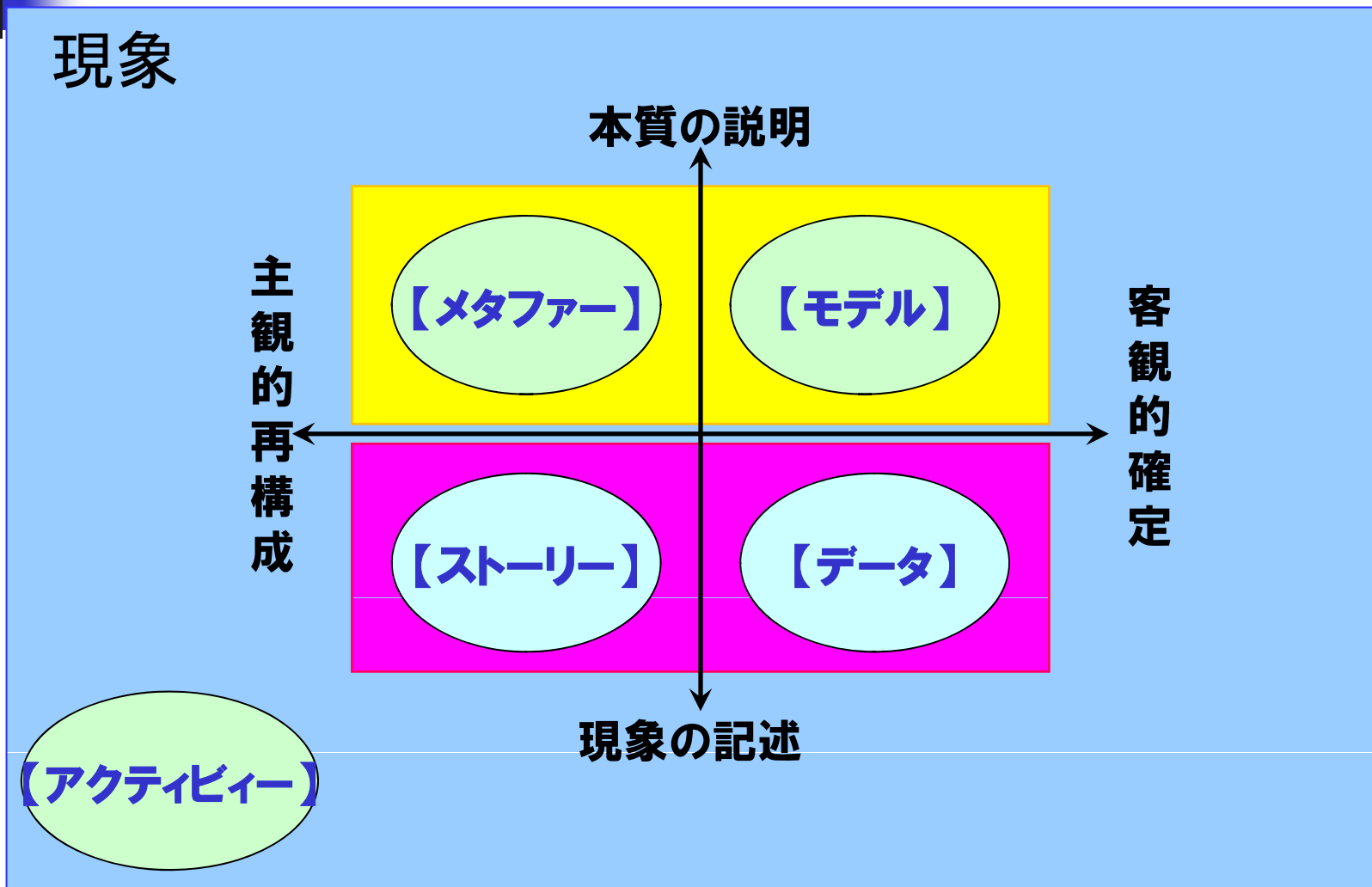
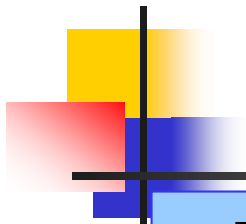
客観的確定

【ストーリー】

【データ】

現象の記述

【アクティビィー】





## 【本日の課題】

教材の特性と使い方を復習しよう。

(2) 授業における子どもの役割＝学習参加の目的の違いに応じて、教材に共通の＜基本的な発問・課題＞を確かめよう。左右を線で結ぼう。

子ども＝**読者・素人**  
(知の消費者)

**読解-分析アプローチ**  
(どうなっているか？ なぜそうなっているか？ どうなるか？)

子ども＝**作者・専門家**  
(知の生産者)

**構成-探求アプローチ**  
(記録しよう、説明・論述しよう！  
説得・主張しよう！)



## 【本日の課題】

教材の特性と使い方を復習しよう。

(3) 子どもに視点の転換＝知的な成長をうながす  
＜発展的な発問・課題＞を、4つのベクトル上に  
位置付けよう。

a: 当時/其処の状況は、  
実際のところどのようにな  
っていたのか？

b: 当時/其処の人々は、  
どのように評価・認知さ  
れているのか

c: 地域/時代に限定され  
ずに、全体としてみると、  
どのようにまとまるか？

d: 地域/時代に即して、  
個別・事例に置き換える  
と、どのようになるか？



## 【本日の課題】

教材の特性と使い方を復習しよう。

- (4) 再度「**アフリカ**」の諸教材を振り返り、その位置づけや活用法＜①基礎的、②発展的な発問・課題＞を考えよう。
- (5) 講義で扱った以下の教材は、「**先進国と途上国の関係**」をどのように表現していたか？3つの教材の関係と指導における組み合わせ方を考えよう。
- 「貿易ゲーム」
  - 「日本のゴミ、大陸へ渡る(NHKのドキュメンタリー)」
  - 「南北問題の構造(東南アジアの図式)」

現象

本質の説明

【メタファー】

【モデル】

主観的再構成

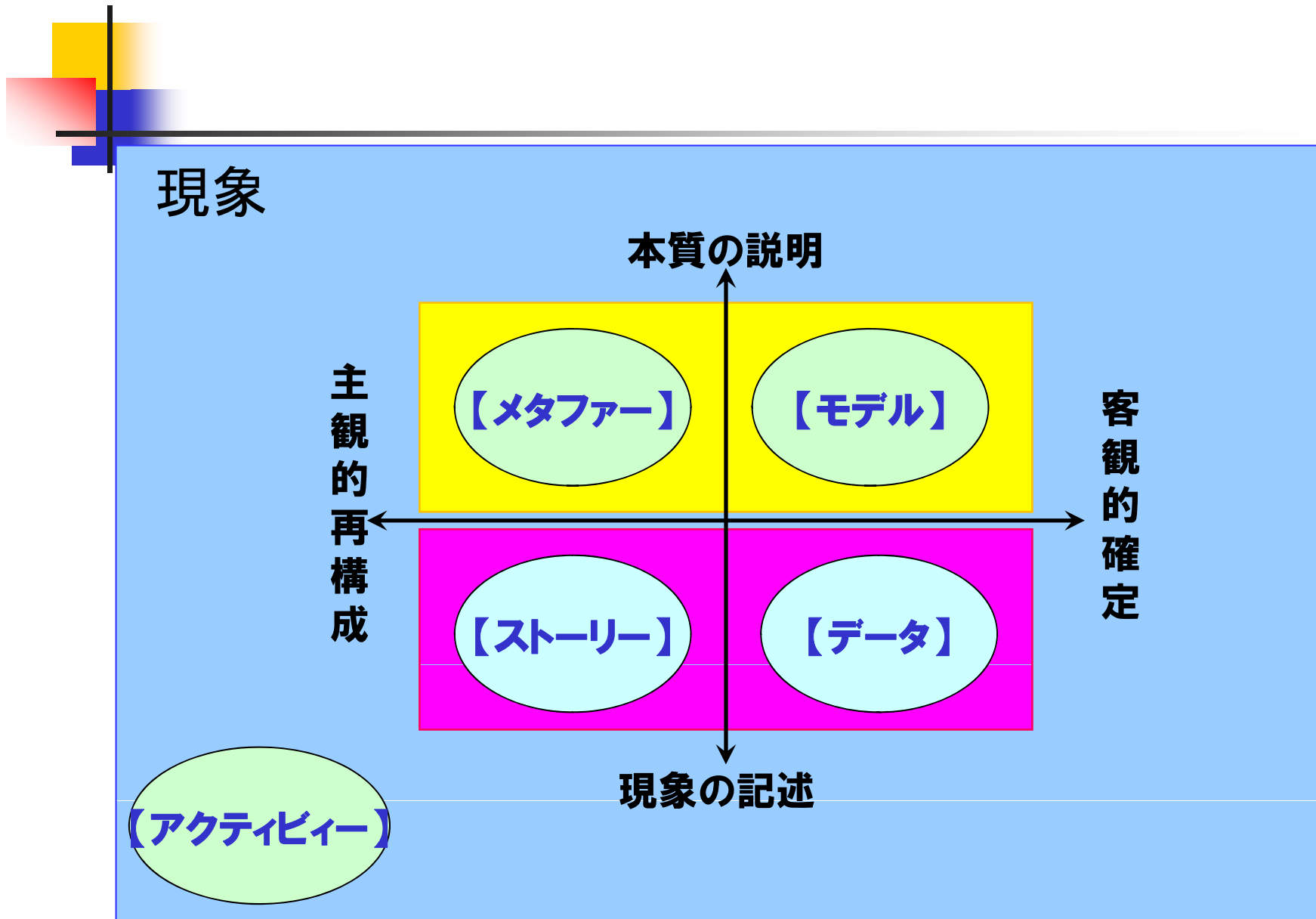
客観的確定

【ストーリー】

【データ】

現象の記述

【アクティビィー】





## 【次回の課題】

**「郷土の開発」を事例に、なぜ授業改善を行うのか、どのようにして授業改善を行うのか、を説明しよう。**

1. 棚橋の指導案1と2では、**教材とその活用法**がどのように変化して(改善されて)いるか。箇条書きせよ。・・・AD班
2. 同じ棚橋の指導案2を素材としながら、桑原と岩下で**見解・評価が異なるのはなぜか？**説明せよ。・・・BE班
3. 谷も棚橋も「地域学習」の改善を提案している点では共通している。しかし、**両者の問題意識(目的)と解決策(手段)**には**違い**が見られる。その違いを説明せよ。・・・CF班